

日本人は渋滞中でもリラックス？

エリック・エイエ

Are Japanese Relaxed in Traffic Congestion?

Erik ÄIJÄ

月尾 日本に来るチャンスをどのように得たのですか？

エイエ ちょうど今のポストの求人があって、日本という環境の中で仕事をすることに興味があったものからです。2年から4年の勤務になると思いますが、果たしてどうなりますか……。

月尾 さっそくですが、地下鉄、電車、バス等の公共交通機関を利用したことはありますか？

エイエ あります。いつも通勤に電車と地下鉄を使います。日本の公共交通機関は、とてもよいと思いますね。ただ困るのは、切符の販売機の使い方がむずかしいことです。特に違う線の通し切符の買い方は、むずかしい。

月尾 電車のサインや駅の表示で不都合を感じることはありませんか？

エイエ ある駅には、英語の表示が全くありません。たとえば、私は代々木上原に住んでいるのですが、駅には英語のインフォメーションは、全くありませんね。今朝なども違う色の電車がくるのです。まあ、とにかく試しに乘ってみようという感じで……。

月尾 なぜ2種類の電車が1つの線を走っているかわかりますか？

エイエ いいえ。

月尾 もともとは2つの線なのです。1つは私鉄で、1つは営団なのですが、最近、相互乗入れをするようになったのです。ですから2種類の電車が走っているわけです。

エイエ なるほど。いずれにしても英語の表示は少

ないですね。ところでスウェーデンには、何回か往復できて、その都度スタンプを押すシステムがあります。1か月用のカードもあるのですが、日本にもありますか？

月尾 ええ、通勤通学の人は、ほとんど定期券を利用しますね。

エイエ そうですか。でも、それを買うには駅務室にいかなくてはならないし、英語を話す人はいないでしょう。ちょっと大変ですね。

月尾 ラッシュアワーを体験したことはありますか？

エイエ いいえ、始発駅なのでそんなひどい混雑に合ったことはありません。

月尾 新宿をはじめとした都内の国電駅に8時ごろ行くと、ラッシュを見るすることができます。2分おきに電車が走り、何万という乗降客がいて、それは壮観です。

エイエ では、一度見に行かなくては。8時ごろですね。(笑)

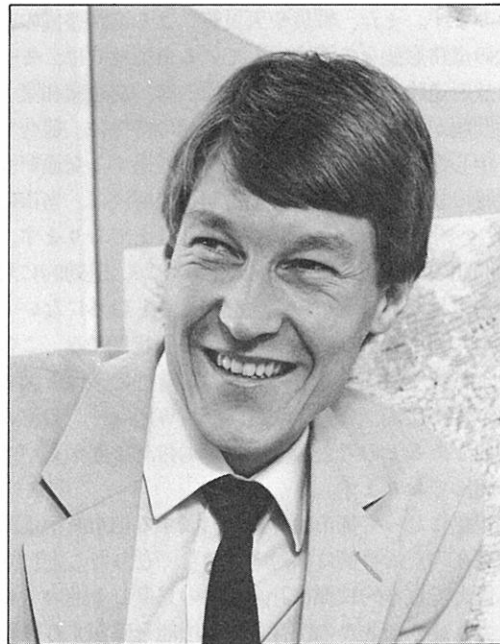
月尾 都内で車を運転したことはありますか？

エイエ はい。都内は、道も狭いし、碁盤の目のようになっていないのでたい

へんです。私は普段、この通りをわたれば、この通りにぶつかるというような捜し方に慣れていまして……。でもここでは、そうはいきません。

月尾 日本は、住所がブロック(丁目)で表示しており、通りの名前がありませんので見つけにくいのです。日本人の運転行動やマナーをどう思いますか？

エイエ 私はあまり渋滞に慣れていません。ですが

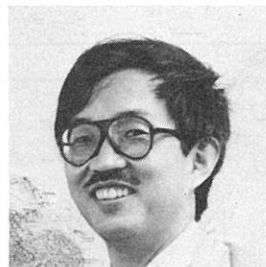


スウェーデン大使館科学技術補佐官。5月初めに来日。来日前はボルボ社の自動車関連部門に勤務。専門は電気工学。

インタビュー

月尾嘉男

当学会誌編集委員。名古屋大学工学部助教授。専門は都市計画、建築学。現在までに、諸外国を含む多くの都市の計画にたずさわってきた。最近は特に国際的な技術協力、Computer Aided Designに関心を持っている。



ら、日本人ほど忍耐強くありません。日本人は渋滞中でも大変リラックスしているように見えます。進めの信号までゆったりと待っているようです。これには、私も慣れなくてははいけませんね。それと、私は思ったのですが、東京では、距離はキロ数ではなく、時間で測らなくてはいけないということです。ですから、日本の1kmとスウェーデンの1kmは簡単に比べられませんね。

月尾 なるほど。

エイエ それと驚いたことの1つに、日本の免許に書きかえる時のことがあります。まあ、これも経験になりましたが、1つのビルの中の1か所ではすまないのです。まず、ここへ行って、それから次の所に行き、また戻ってきて……。時間もずいぶんかかりました。そして、もっと驚いたことには、日本の免許証を交付してもらった時に、日本の交通のルールについて、何も手引をもらわなかったことです。スウェーデンと日本とではずいぶんルールが違うと思うのです。

月尾 大きな違いは、左側通行と右側通行ですね。

エイエ 車に乗って気がついたのですが、5叉路、6叉路の交差点では、信号機が見えにくいですね。頭上にあるため、前の交通流によってさえぎられてしまうのです。スウェーデンは道の両側にもあるのです。走りにくいと言えば、路側駐車が多くのことです。タクシーもあぶないですね。どこでも止まりますね。

月尾 タクシーは、他の車は見ないで、お客を見ているのです。

エイエ スウェーデンの新しいタクシーシステムをご存知ですか？コンピュータがタクシーに搭載されて、それによってコントロールしているのです。今年の初めから、ストックホルム、ゴーセンブルグ、マルメで実施されているようです。

ところで、自動車内の子供については驚きましたね。前の座席にシートベルトもしないで、他の何の保護もせずに乗っていますね。

月尾 スウェーデンではシートベルトが義務づけら

れていますか？

エイエ はい。前座席の人はすべて、タクシーの運転手を除いて。なぜならば、タクシーの運転手は、車から降りてドアをあけますので。日本は自動ドアですけれど(笑)。子供が前の座席に座ることにに関しては、スウェーデンでは特別の規則があります。シートベルトが着用できないほど小さい場合は、特別の座ぶとんのようなものに座らせ、そして、シートベルトをします。日本では子供が前座席に座ってダッシュボードに乗り出しています。両親が同乗していながらも、危険ですね。

月尾 歩行者の環境は、どう思いますか？

エイエ 私は、左側を歩くように言われていたのですが、いつもジグザグに進まなくてははいけませんね。左を歩く人もいれば、右を歩く人もいますし。また時には、自転車もすごいスピードでくるので注意しなければなりません。でも、わからなそうに立っていると、日本の人は教えてくれますね。

月尾 親切に教えてくれるのは若い人ですか？

エイエ いいえ、中年の人が多かったようです。それから、電車の中のものが増えていっていませんね。落書きも少ないし、すばらしいですね。

月尾 よくない点といえば、終電近くになると酔払いが多いことです。座席を占領したり、女性にからんだり……。

エイエ わかります。会社が終わると飲みに行く習慣があるからでしょう。スウェーデンの人は家に直行します。習慣の違いでしょうか。

月尾 どうもありがとうございました。

インタビュー後記

日本に来て、まだ数か月にもかかわらず、交通に関する細かい気づいた点をお話しただきました。日ごろ私たちは、本当は不便なのに、それに慣れてしまっただけだと思っただけで、外国の人のフレッシュな目でそれらを指摘され、あらためて考えさせられました。

エイエ氏は、後座席でもシートベルトをしめるそうです。衝撃によって前座席に飛び込み、前の人を傷つける可能性があるからだそうです。感心ですね。

(昭和58年7月6日実施)